2020年度　日本工学院八王子専門学校											
鍼灸科											
診察学応用３											
対象	３年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	笠井友和			実務経験	有	職種	鍼灸師				

授業概要

東洋医学的診断法と西洋医学的診断法を学び、適切な施術を施すための判断力を養う。鍼灸施術にとって最も大切な能力は、その患者の状態を正確に把握することである。そのための方法として、東洋・西洋の両方に存在する人体把握の方法を身につけることを目的とする。

到達目標

実際に患者の持つ愁訴を理解し、症状の意味を考える。そこから考え得る原因や病名などを推測し、鍼灸適応症例なのか不適応症例なのかを適切に判断できる能力を身に付ける。更に、適応症で有ると推測された場合の治療方針の立て方や予後の予測ができるような知識を身に付けることを目標とする。

授業方法

現代医学的な診察法の基本を確認し、鍼灸施術に活かすための診察の基礎を学ぶ。診察の仕方や評価法を練習し、体得する。提示された症例をもとに、診察の模擬授業を行い、診察力た対応力を身につける。実習を伴う授業は、予習・復習をすることが大切である。予習をすることによって、授業中にすぐ身体が動くように準備しておくこと、復習することによって、毎回自分なりに振り返りや課題を見つけて、次回へ活かすように取り組む。

成績評価方法

期末試験（筆記試験）。

履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。

教科書教材

東洋療法学校協会指定教科書臨床医学総論

回数	授業計画
第１回	四肢の形態異常
第２回	反射の異常1
第３回	反射の異常2

2020年度　日本工学院八王子専門学校	
鍼灸科	
診察学応用３	
第４回	脳神経の異常1
第５回	脳神経の異常2
第６回	脳神経の異常3
第７回	髄膜刺激症状
第８回	運動機能検査1
第９回	運動機能検査2
第１０回	運動機能検査3
第１１回	運動機能検査4
第１２回	運動機能検査5
第１３回	協調運動の異常
第１４回	頭痛1
第１５回	総合